

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2013年度事業報告

I 概要

今年度は、日本人選手がパラグライディングワールドカップの総合部門と女子部門で優勝し、パラグライダーの直線飛行距離の日本記録が更新されるなどの日本人フライヤーの活躍がありました。JHFでは、普及と安全のための取り組みとして、パラグライディング教本DVD「テイクオフ＆ランディング」の販売を開始し、ハンググライダーのベテランパイロットを対象としたプラッシュアップセミナーを4回、開催しました。しかし、パラグライダーの事故の映像がテレビに流れるという社会的に重大な事故も発生してしまいました。

ハングもパラも技能証の発行数は若干増加していますが、フライヤー高齢化等による自然減を補うには至らず、有効フライヤー会員数は僅かに減少しています。

日本における1970年代ハンググライダー黎明期からのハンググライダー、パラグライダーの歴史編纂事業を開始し、今年度は一般財団法人日本航空協会の航空亀齢賞を受賞された阿部郁重先生を囲み、日本のハング界の創始者たちの座談会を開催し録画しました。

1. 収支の現状

JHFは公益法人化後、積み上がっている財産を健全に費消し、公益事業の規模に見合った会計が求められるフェーズにあります。今年度の決算では、単年度の収入と支出の差し引きでは赤字となりました。支出は前年度に比べた場合、教員検定員の集合教育に費用追加している程度で、赤字は主に前年に比べてフライヤー会員会費が減収したことによります。

JHFは、あと2年ほどは、この程度の単年度赤字の事業推進をすることができる体質にあります。その間に、愛好者数を再び増加に転じさせるような事業に投資しなければいけません。今年度の赤字は、健全な財産減少の過程と考えており、当面支出を抑制する必要はありません。しかしふライヤーが横ばいのままなら、数年後には収入に見合った事業に絞って活動する時代を迎えることになります。中長期的な展望としては、フライヤー登録の第三者賠償責任保険を消滅させないために、大きな損害率を穴埋めするための保険料負担の増額を続けています。財務的にも、今後3年間が正念場と言えます。

2. 普及振興事業の実施等

- 1) JHFパラグライダー教本の教育課程に沿って基礎技術を映像で提供するため、「テイクオフ＆ランディング」のDVDを制作しました。
- 2) ハンググライダー・パイロットを対象にセーフティー・トeingによるプラッシュアップセミナー（安全セミナー）を4回開催しました。
- 3) 教員検定員により、教員・助教員の知識、技能の維持向上を行うことにより、JHFフライヤー会員へ安全フライトに関する啓蒙活動を推進するために、教員助教員更新講習会を各地で開催し16カ所 133名が受講しました。
- 4) 教員検定会にて、4名が新しく教員になりました。（PG4名）
- 5) 教員検定員研修検定会を実施、検定員候補者34名が参加しました。

3. 特記事項

- 1) 第36回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月27日（土）～28日（日） 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 第19回スカイスポーツシンポジウムを協賛
11月30日（土） 日本大学理工学部・駿河台校舎
- 3) パラグライダー日本記録の直線距離（一般部門、女性部門）を更新

平木啓子選手の直線距離332km（ブラジル・キシャダヘピリピリ）の記録が一般財団法人日本航空協会により承認

II 事項別状況

1. 組織

(1) 会員数

ア 正会員 47名
イ フライヤー会員 8, 499名（2014年3月末有効登録数）
ウ 賛助会員 12名

(2) 役員構成

理事 9名（内会長1名、副会長2名） 監事 2名（2014年3月末現在）

2. 会議等の開催

(1) 総会

2013年 6月通常総会
開催通知 2013年4月25日（木）
開催日 2013年6月18日（水） 11:00～17:00
開催場所 東京体育館 第一會議室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷)

議案 報告事項1 2012年度事業報告について
報告事項2 2012年度決算報告について
決議事項1 貸借対照表及び損益計算書の承認について
報告事項3 2013年度事業計画について
報告事項4 2013年度収支予算について
決議事項2 JHF役員選任について

(2) 理事会

ア 第1回理事会 開催日 5月14日（出：理事6 欠：理事1）
イ 第2回理事会 開催日 7月12日（出：理事9、監事2）
ウ 第3回理事会 開催日 9月 6日（出：理事9、監事2）
エ 臨時理事会 開催日 9月20日（出：理事8、監事1 欠：理事1、監事1）
オ 第4回理事会 開催日 11月19日（出：理事9、監事1 欠：監事1）
カ 第5回理事会 開催日 1月28日（出：理事8、監事2 欠：理事1）
キ 第6回理事会 開催日 3月11日（出：理事9、監事1）

文書理事会 開催日 4月15日、17日、5月21日、6月6日（2件）、
6月14日（2件）、6月17日、7月23日、7月29日、
8月12日、8月26日、11月7日、1月10日、
2月14日、3月4日、3月18日、3月20日

(3) 委員会

ア ハンググライディング競技委員会 競技会開催時に実施
イ パラグライディング競技委員会 競技会開催時に実施、1/20
ウ 補助動力委員会 10/22、12/6
エ 教員・スクール事業委員会 10/8、11/26、12/10、1/21

オ 安全性委員会 6/20、10/8、11/26、12/10、1/21
カ 制度委員会
キ ハングパラ振興委員会
ク 役員選任実行委員会 5/9
ケ 委員長理事合同会議 3/4

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

ア JHF レポートを発行（4月、7月、10月、1月）
(独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています)
イ 都道府県連盟事業費の交付
ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数：2013年度 5,841人（新規・更新）
2012年度 6,146人

(3) 技能証発行

ア HG : 228枚 (2012年度 157枚)
イ PG : 1,111枚 (2011年度 1,031枚)
ウ MPG : 35枚 (2011年度 25枚)
エ レスキュー・リパック認定証 136枚

(4) 競技会の主催・公認・後援

ア HG : 13件 (内FAIカテゴリーI・II : 2件)
イ PG : 31件 (内FAIカテゴリーI・II : 3件)
ウ HG・PG同時開催 : 8件

(5) 競技会の開催

ア HG :

- 1 日本選手権
2013年8月14日～18日 岐阜県池田山エリア
参加73人 日本選手権者：鈴木博司 女子：磯本容子
- 2 ハンググライディングシリーズ
第1位 鈴木博司 女子第1位：磯本容子
- 3 ハンググライディングXCリーグ
第1位 砂間隆司

イ PG :

- 1 日本選手権
2013年9月20日～23日 茨城県足尾山エリア
参加65名
日本選手権者：植田真吾 女子：平木啓子
- 2 アキュラシーナショナル選手権
2013年9月28日～29日 山形県十分一山エリア
参加31名
日本選手権者：横井清順 女子：東武瑞穂
- 3 ジャパンリーグ(参加人数96名)

オープンクラス	1位：植田真吾
オープンクラス女子	1位：伊藤弥生
スポーツクラス	1位：村上修一

スポーツクラス女子 1位：井川絵美
ジャパンリーグ（参加人数23名）
総合 1位：村上修一
女子 1位：川名美江
クロスカントリーリーグ（83本） 1位：加藤 豪
最長フライト 岩崎拓夫（160.2km）
アキュラシージャパンリーグ（参加人数42名）
スクラッチクラス 1位：吉富周助
スクラッチクラス女子 1位：東武瑞穂
ハンディキヤップクラス 1位：伊藤まり子
ハンディキヤップクラス女子 1位：伊藤まり子
ルーキークラス 1位：臼井紀人

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

ア スクールサイト登録校 148件 （うち新規登録校 4件）
イ エリア情報掲載 176件

(7) 海外関係団体活動

ア CIVL総会 2014年2月20日～23日
インドネシア 出席者：デレゲイト 岡芳樹、オブザーバー 北野正浩

(8) 世界選手権へのチーム派遣

ア 第13回パラグライディング世界選手権
参加選手：6名
2013年7月13日～26日 ブルガリア ソボト
イ 第7回パラグライディングアキュラシー世界選手権
参加選手：7名
2013年8月17日～25日
ウ 第2回パラグライディングアキュラシーアジア選手権
参加選手：7名
2014年3月12日～19日

(9) その他

ア 機体型式登録 12件 (PG)
イ 機体情報登録 0件 (PG)

添付： 2013年度 委員会等活動報告補足

以上

< 2013年度委員会活動報告補足 >

ハンググラディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) WEB登録によるエントリーの簡素化
- 2) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は隨時実施。
- 3) 2013年日本選手権開催（池田山） 2013年8月14日～18日
73名参加。タスク5本成立。日本選手権者：鈴木博司 女子日本選手権者：磯本容子
- 4) ハンググライディングシリーズ管理運営
参加人数 83名
1位：鈴木博司、2位：平林和行、3位：加藤実
女子1位：磯本容子
- 5) ハンググライディングXCリーグ管理運営
1位：砂間隆司（188.88km） 2位：氏家良彦（169.14km）
3位：田中猛（167.44km）

パラグライディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB事務局・ホームページ管理
- 3) 第13回パラグライディング世界選手権（ブルガリア、ソポト：7月13～26日）～選手派遣（男子4名、女子2名）（呉本圭樹、上山太郎、成山基義、中川喜昭、伊藤弥生以上チームメンバー、個人参加で平木啓子）
総合1位：ジェレミー・ラジャー（フランス）、2位：シャルル・カゾー（フランス）、3位：ダヴィデ・カセッタ（イタリア）、11位：呉本圭樹、24位：上山太郎、92位：平木啓子、130位：伊藤弥生、143位：成山基義
女子1位：クラウディア・ブルガコフ（ポーランド）、2位：福岡聖子（フランス）、3位：ニコル・フェデレ（イタリア）、6位：平木啓子、11位：伊藤弥生
国別1位：フランス、2位：イタリア、3位：ヴェネズエラ、15位：日本
- 4) 第7回パラグライディングアキュラシー世界選手権（ボスニア・ヘルツエゴビナ、サラエヴォ：8月17～25日）～選手派遣（男子5名、女子2名）（岡 芳樹、横井清順、古賀光晴、吉富周助、古田岳史、内田 薫、伊藤まり子）
総合1位：シェン・グアン・キアン（中国）2位：ヤカ・ゴレンチ（スロベニア）、3位：トマス・レデニク（チェコ）、16位：吉富、18位：古賀、21位：横井、47位：岡、56位：伊藤、53位：古田、67位：内田。
女子1位：メリツア・マリンコヴィッチ（セルビア）、2位：リマンテ・ヴェルビライテ（リトアニア）

ニア)、3位:ヨランタ・ラマネンコ(リトアニア)、7位:伊藤、13位:内田。

国別1位:チェコ、2位:ブルガリア、3位:セルビア、5位:日本。

5) 第2回パラグライディングアキュラシーアジア選手権(マレーシア ラナウ:3月12日~19日)～選手派遣(男子5名、女子2名)(岡 芳樹、横井清順、古賀光晴、吉富周助、水野良信、東武瑞穂、伊藤まり子)

総合1位:タナパット(タイ)50点、2位:マ・チャン(中国)146点、3位:マ・レイ294点、5位:吉富327点、7位:岡480点、9位:東武572点、10位:水野587点、14位:古賀685点、16位:横井929点、19位:古田1159点、39位:伊藤3353点

女子1位:ヌナパット(タイ)506点、2位:東武572点、3位:チャンティカ(タイ)1383点、10位:伊藤3353点

国別1位:タイ、2位:日本、3位:中国

6) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理

・Jリーグ結果(参加人数96名)

オープンクラス 1位:植田真吾、2位:成山基義、3位:岩崎拓夫

オープンクラス女子 1位:伊藤弥生、2位:平木啓子、3位:井川絵美

スポーツクラス 1位:村上修一、2位:井川絵美、3位:田中 健

スポーツクラス女子 1位:井川絵美、2位:中目みどり、3位:高田奈緒

・J2リーグ(参加人数23名)

総合 1位:村上修一、2位:碓井伸彦、3位:川名美江

女子 1位:川名美江、2位:田村康子、3位:橋本みさ紀

・XCリーグ(25名、83本)

1位:加藤 豪(447.5km)、2位:岩崎拓夫(399.9km)、3位:二三四藤昭(335.7km)

最長フライト:岩崎拓夫(160.2km)

・AJリーグ(参加人数42名)

スクランチクラス 1位:吉富周助、2位:横井清順、3位:東武瑞穂

スクランチクラス女子 1位:東武瑞穂、2位:伊藤まり子、3位:内田 薫

ハンディキャップクラス 1位:伊藤まり子、2位:臼井紀人、3位:丹野慶太郎

ハンディキャップクラス女子 1位:伊藤まり子、2位:柳井維都花、3位:内田 薫

ルーキークラス 1位:臼井紀人、2位:小松理樹、3位:鈴木洋史

7) 2013年度日本選手権開催(茨城県石岡市足尾山エリア) 2013年9月20~23日

タスク3本成立/4日 65人参加 規定により日本選手権として成立。

総合1位:植田真吾、2位:多賀純一、3位:成山基義、4位:武貞伸明、5位:山口 翔、

6位:廣川靖晃

女子1位:平木啓子、2位:伊藤弥生、3位:井川絵美

スポーツクラス1位:村上修一、2位:井川絵美、3位:関根靖明

スポーツクラス女子1位:井川絵美、2位:中目みどり、3位:橋本由美

8) 3013年度アキュラシー日本選手権開催(山形県南陽市十分一山エリア) 2013年9月28~29日

6ラウンド成立 31人参加 規定により日本選手権として成立。

総合1位:横井清順、2位:東武瑞穂、3位:吉富周助、4位:岡 芳樹、5位:伊藤まり子、
6位:菅野剛広

女子1位:東武瑞穂、2位:伊藤まり子、3位:菊田久美

ハンディキャップ1位:伊藤まり子、2位:丹野慶太郎、3位:矢野 啓

ハンディキャップ女子1位:伊藤まり子、2位:菊田久美、3位:及川 望

安全性委員会 委員長 桂 敏之

- 1) 運用経費の圧縮と効率的な運用を目的として、委員会の開催はメール通信による稟議で行った。
- 2) JHFウェブサイトにおいて、安全管理情報の普及に役立つ事例集をプログラリンク形式で掲載するために、ブログ業者の選定などの作業を行い、ハンググライダーに関する情報を掲載したものを試行した。ハンググライダー整備表の試行運用を開始している。
- 3) 安全セミナー開催のためのプログラム作りに参加した。
- 4) DHV・エアターコイズ・PMAへの訪問・調査を行った。
- 5) ハンググライダーパイロットを対象にプラッシュアップセミナーを開催した。
- 6) 事故調査と報告書の提出 1通作成
- 7) 事故情報データベースの継続整備

教員スクール事業委員会 委員長 岩橋 亘

- 1) 教員検定会 PG 4名
- 2) 教員助教員更新講習会 16箇所 133名受講
- 3) 補助動力テキスト作成についての検討(補助動力委員会と合同)
- 4) 平成25年度教員検定員研修検定会の調整
- 5) レスキューパラシュートリパック認定証についての見直し(安全性委員会と合同)
同認定証検定のテキストと試験問題を改定
- 6) 安全セミナープログラムの作成(安全性委員会と合同)
- 7) インストラクターマニュアルの整備を目的に公益財団法人日本体育協会の指導者用テキスト
IとIIをJHF教員指導体系に導入

制度委員会 委員長 小林 秀彰

- 1) JHFに関わる制度の定款、規約、規程、規則等の文書管理
- 2) 役員選任委員会への助言

- 3) フライヤー会費規程の改定
- 4) 新理事へのJHF制度と理事の法的責任の説明
- 5) 技能証規程の一部改訂
 - 助教員検定を助教員検定員、教員検定員ができるように改定
 - リパック認定証の改定
- 6) 補助動力教本作成に参加 MPG 技能証規程の改定検討
 - 但馬合意の確認
- 7) オールドパイロット講習会の諮問に対する答申

補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) 3月 関西方面トeing見学
- 2) 4月 補助動力教本写真撮影
- 3) 6月 委員会（教本編集他）
- 4) 7月 苦情対応（騒音苦情愛知県・死亡事故あり）
- 5) 11月 下総航空基地安全会参加
- 6) 12月 委員会（教本編集他）
- 7) 重大事故発生時の連絡調査

ハングパラ振興委員会 旧委員長 芦川 雄一郎

- 1) パラグライダー・パンフレット作成
- 2) パラグライダー・プロモーションDVD作成
- 3) ウェブ更新